

平成 22 年度 事業報告書

東備西播定住自立圏形成推進協議会

生活機能の強化

【ア. 医療】

地域医療の連携

○取組の内容

圏域の中核的病院である赤穂市民病院を中心として、圏域内の公立病院等が連携を図り、医療体制の確保、充実に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を赤穂市と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を設置し、運営する。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を上郡町と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を上郡町と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市及び赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を備前市及び赤穂市と連携して運営する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	京都大学等から大学教授を招へいし、4公立病院（赤穂市民病院、備前病院、日生病院、吉永病院）の医師、看護師ほか医療技術者を対象に、先端医療の現状等について講演、指導等を仰ぐ連携研究会事業を行う。					
効果	公立病院の医師、看護師ほか医療技術職員の資質向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	341	350	350	350	350	1,741
平成22年度事業の内容						
◆第1回研究会 公立病院だけでなく圏域の医療現場で働く職員一人ひとりの危機管理能力を高めるために、医療安全研修を実施 と き : 7月16日(金) 午後6時から と ころ : 赤穂市民病院 3階 講義室 講 師 : キャリア・メディカル研究所 所長 木村有子 テーマ : コミュニケーションエラー 参加数 : 108名(赤穂市 83名、備前市 25名) ◆第2回研究会 兵庫県立尼崎病院長から公立病院の経営等について講演、指導を仰ぐ連携研究会事業を実施 と き : 9月25日(土) 午前9時から と ころ : 赤穂市民病院 3階 講義室 講 師 : 兵庫県立尼崎病院 藤原久義 院長 テーマ : 公立病院の運営について 参加数 : 144名(赤穂市 136名、備前市 8名)						

◆第3回研究会

「現場での危険予知の気付きと対策」を On The Job で実践できるスキルを確実に身につけるために、医療事故防止のための危険予知研修を実施

と き : 1月28日(金) 午後6時から
 ところ : 赤穂市民病院 3階 講義室
 講 師 : メディカルセーフティコーチ 柳 生 邦 雄
 テーマ : 医療事故防止講座「医療 KYT・4R 法」
 参加数 : 88名(赤穂市 77名、備前市 11名)

事業費 287,971 円

事業名	医療情報研究会事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	医療連携研究会事業で講演、指導を受けた内容や圏域内において課題となる共通事案についての情報を共有するため、研究・発表等を行う情報研究会事業を実施する。					
効果	圏域内において医療情報を共有化し、圏域全体の医療サービスの向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	55	60	60	60	60	295
平成22年度事業の内容						
赤穂市民病院看護部の研修計画に圏域内病院職員が参加し、相互理解を深めるとともに、今後の研修計画策定に向け意見交換を行った。						
【研究会】 兵庫県立粒子線センター看護師から、看護倫理について指導を仰ぎ、今後の看護実践の場で活かす研究会を実施した。						
とき：2月19日（土）午前10時から						
ところ：赤穂市民病院 3階 講義室						
指導者：兵庫県立粒子線センター 藤本美生 看護師						
内容：看護倫理について						
参加数：28名（赤穂市 25名、備前市 3名）						
事業費 2,920 円						

【イ. 教育】 生涯学習の推進

○取組の内容

圏域における生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興、健康増進等を図るため、教育施設等の相互利用、文化・スポーツ等に関する情報の交換及び人材の交流等、文化・スポーツの交流等を推進する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、忠臣蔵、塩等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、古代山陽道や赤松氏等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。

事業名	巡回展開催事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	埋蔵文化財出土遺物の交流・展示会を次のとおり企画し、3市町の資料館等で巡回展示する。 平成22年度 新発見考古速報展（企画：上郡町） 平成23年度 弥生末期～古墳初頭展（企画：赤穂市） 平成24年度 備前焼展（企画：備前市）					
効果	圏内は古代より備前、播磨の接壤地帯にあり、学会的にも注目される地域である。このような圏域の特徴を再発見し、誇りの醸成に資するとともに、圏域内外の人的交流を活かした文化振興を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	516	520	520	—	—	1,556
平成22年度事業の内容						
【実施内容】						
・展示テーマ 埋蔵文化財巡回展「新発見考古速報展」						
・出品遺跡数 9遺跡（上郡3遺跡、赤穂4遺跡、備前2遺跡）						
・出品数 210点（上郡81点、赤穂108点、備前21点）						
・実施結果						
上郡町（郷土資料館） 9/1～10/3 開催日数 30日 入館数 384人						
赤穂市（旧坂越浦会所） 10/6～11/14 開催日数 35日 入館数 1,651人						
備前市（加子浦歴史文化館） 11/16～12/12 開催日数 24日 入館数 358人						
						
事業費	494,137 円					

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の文化施設収蔵資料のうち「圏域ゆかりの画家・書家たち展」を、赤穂市文化とみどり財団へ委託して実施する。					
効果	圏域ゆかりの画家・書家たち展を開催することにより、圏域が誇る先人の足跡を探訪、顕彰し、誇りの醸成に資するとともに圏域における文化交流に寄与する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	651	—	—	—	—	651
平成22年度事業の内容						
【実施内容】 ・展示テーマ 「東備西播定住自立圏ゆかりの画家・書家たち」 ・出品数 74点（赤穂25点、備前27点、上郡22点） ・場 所 赤穂市立美術工芸館（田淵記念館） ・期 間 8/25～10/18（開催日数 48日） ・入館数 744人 						
事業費	651,000 円					

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	行政と民間で実行委員会を設立し、参加者を募集して備前陶器窯跡、赤穂城跡、上郡町郷土資料館等3市町の指定文化財・文化施設等をバスで巡るツアーを実施する。					
効果	住民と行政の協働による実行委員会を設立して人的交流の裾野を広げるとともに、3市町の指定文化財・文化施設等を巡るツアーを実施して、各市町文化の相互理解を深める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	486	500	500	—	—	1,486
平成22年度事業の内容						
【実施内容】 - 実施日 9月11日（土） - 実施時間 9：00～17：00 - 参加人数 121人、その他（随行7人、現地スタッフ12人） - 交流場所 閑谷学校近隣の青少年教育センター - 情報交換会 発表者 5人 *各施設で学芸員等による解説・説明を実施。 *各市町は、見学施設のいずれか1施設で副首長又は担当課長が歓迎。						



事業費 486,000 円

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町及び賛助出演として開催地赤穂市の姉妹・友好都市である熊本県山鹿市、広島県三次市の伝統芸能・郷土芸能団体を一同に会した芸能大会を赤穂市文化とみどり財団へ委託して開催する。					
効果	圏域に存在する郷土芸能・伝統芸能団体を招聘し、圏域内外の出演者間及び鑑賞者間の交流を深めるとともに、伝統芸能についての相互理解を深める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	2,350	—	—	—	—	2,350
平成22年度事業の内容						
【実施内容】 日時 10月24日（日） 13時開演（12：30開場） 場所 赤穂市文化会館（ハーモニーホール） 大ホール 出演団体数 11団体（赤穂市4団体、備前市3団体、上郡町3団体、友情特別出演1団体（山鹿灯籠踊り）） 出演者数 245人 入場料 500円（全席自由） 入場者数 900人（有料655人＋出演者245人） キャッチフレーズ 郷土・伝統芸能まつりー響きあう、海と里ー						
事業費	2,350,000 円					

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の住民が、定められた日（全国一斉）にどれだけ多くの人がスポーツや運動を行ったかを競い合う事業を、各市町でそれぞれ実行委員会を組織し、笹川スポーツ財団の補助金も得て実施する。					
効果	定住自立圏構想を住民へ周知するとともに、地域住民の仲間意識や連帯感を育み、スポーツや健康づくりに対する意識高揚と自治体・地域間交流の活性化を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	600	600	600	—	—	1,800
平成22年度事業の内容						
5月26日（水）、2市1町対抗で1日15分間以上の運動をした住民参加率を競うチャレンジデーを各市町実行委員会主催により実施した。 <結果> 赤穂市の参加率 33.1% 3位 （参加人数：16,961人） 備前市の参加率 35.7% 2位 （参加人数：14,002人） 上郡町の参加率 36.3% 1位 （参加人数：6,314人） ・5月27日（木）から6月2日（水）まで、庁舎のポールに上位順に市町旗を1週間掲揚						
						
事業費	600,000 円					

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の相互利用を促進するため、相互に利用案内を作成・設置するとともに、共通のポスター、チラシを作成する。					
効果	公立図書館及び関西福祉大学附属図書館の利用にかかる利便性を向上し、住民サービスの向上を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	853	500	500	500	700	3,053
平成22年度事業の内容						
2市1町（関西福祉大学の学生・職員を含む）の住民が各図書館での図書貸出しを受けられるよう、利用者カードを作成する。 事業開始は平成23年4月1日からとする。 - 図書館利用者カードの作成 赤穂市及び備前市分を作成。 ただし、上郡町及び関西福祉大学図書館については作成不要。 - ポスター・チラシ・利用案内の作成について 周知用ポスター・チラシ・利用案内冊子を作成。						
事業費	852,350 円					

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	文化事業やスポーツ大会等の開催情報を圏域全体に発信し、関係市町で実施する大会等に圏域住民のオープン参加を追加するなど、関係市町で実施する既存事業において圏域住民の参加を図る。また、体育指導委員等関係者の交流や関係市町で発行した文化関係図書等の交換を行う。					
効果	文化事業やスポーツ大会等に圏域住民の参加を促進して相互交流を深めるとともに、施設の利用促進を図る。他市町の住民やチームが参加することによるレベルアップも期待できる。また、行政間でも人的・物的交流による相互理解を深める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成22年度事業の内容						
各市町のホームページや広報等を通じ、スポーツ大会等の開催を圏域全体にPRする。 ・6月24日（木）の2市1町体育指導委員情報交換会を行い、体育指導委員のスポーツ交流大会や研修会など、今後の交流について協議を行った。 ・8月22日（日）の赤穂市卓球大会に備前市から6チーム、上郡町から4チームが参加。 ・8月28日（土）、備前市において体育指導委員交流会を実施。 ・9月5日（日）の赤穂義士杯青少年柔道大会に、上郡町から3チームが参加。 ・11月7日（日）の忠臣蔵旗少年剣道大会に、備前市及び上郡町から3チームが参加。 ・12月14日の義士祭奉賛武道駅伝競走大会に、備前市及び上郡町から2チームが参加。						

- ・ 12月18日（日）の2市1町体育指導委員交流会にて、ニュースポーツ（室内カーリング）の実技研修会と情報交換会を開催。
- ・ 1月30日（日）の赤穂シティマラソン・プレ大会に、備前市及び上郡町の体育指導委員20名が、沿道の整理係員として参加。
- ・ 2月26日（土）に上郡町で2市1町体育指導委員交流会を開催し、囲碁ボールの実技研修会と情報交換会を実施。



事業費 — 円

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の文化・スポーツ施設のうち、圏域住民が利用する施設と位置づけられた施設について、市町民と市町外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合、原則として圏域住民に限り市町民と同等の条件で利用できるよう改める。					
効果	圏域住民が文化・スポーツ施設を平等に利用することにより、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民の相互交流を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成22年度事業の内容						
各市町平成23年第1回定例会に必要な条例等改正を提案。（可決）						
事業費	— 円					

学校給食の広域連携

○取組の内容

圏域における学校給食の充実を図るため、学校給食施設の広域連携を図る。

備前市の役割	赤穂市の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	学校給食施設を建設するにあたり、備前市及び赤穂市と連携して、施設運営の技術的交流に取り組むことにより、圏域における学校給食の充実を図る。

事業名	関係市町					
	上郡町・備前市・赤穂市					
事業内容	上郡町が学校給食施設の建設・運営にむけて、将来を見据え、経済効果につながる学校給食施設の整備・運営方法や広域連携について検討する。					
効果	上郡町の小中学生に学校給食を提供することによる食育の推進と保護者の負担軽減を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	今後上郡町において検討					
平成22年度事業の内容						
上郡町における学校給食施設の建設・運営に向けた検討 H22.6～ 関係課による検討委員会を実施 メンバー：企画財政課、学校教育課、健康福祉課、産業振興課、建設課 ※検討委員会で具体的な提供手法等について検討し、方針を取りまとめ。						
事業費	— 円					

【ウ. 産業振興】

地産地消の推進及び地域ブランドの発掘

○取組の内容

地産地消の推進及び地域ブランドの発掘を図るため、圏域内の事業体に対して既存商品の再発掘、改良及び新商品の開発等について必要な支援を行うとともに、各種イベントの実施や既存施設の空きスペース等の活用により情報を発信する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等について総合的な調整を行うとともに、必要な支援及び情報発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び赤穂市、並びに関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	農商工連携セミナー、学習会、料理教室等各種イベントを農業者、商工業者が共同で実施するなど、地域ブランド発掘のための事業を行うとともに、観光協会と協力して東京のすみだまつり等、各地でのイベントに出店、参加する。					
効果	地産地消を推進し、地域独自の売りとなる地域ブランドの商品や特産品などを創造することにより、圏域経済を活性化し、生産者等の意欲向上を図るとともに、圏域市町の名を全国に発信し、知名度アップを図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,844	2,000	2,000	2,000	2,000	9,844

平成22年度事業の内容

【実施内容】

実施日	内 容	場 所	備 考
H22年 7月 9日(金)	農商工連携セミナー	赤穂市文化会館	・農商工連携と地域資源活用の2つの施策の認定制度の説明について ・成功事例にみる制度の効果的な活用についてなど
7月 28日(水)	第1回学習会	〃	・売れる商品の開発について
8月 11日(水)	第2回学習会	〃	・商品を地域ブランドに
8月 25日(水)	第3回学習会	〃	・食を軸にした地域ブランド戦略
10月 8日(金)	第4回学習会	〃	・(新商品、既存商品)アイデア検討 ・必要な支援の方向性
H22年 7月 6日(火)	第1回料理教室	有年公民館	【講師】株式会社グリーンにしはりま 専務 太田和男氏 赤穂市いづみ会
7月 28日(水)	第2回料理教室	城西小学校	【講師】JA兵庫西赤穂野菜市 会長 沖洋和 氏 すし・季節料理・竹 店長 竹原真二 氏

8 月 22 日(日)	第3回料理教室	備前市内	【講師】吉永地区栄養委員会
10 月 17 日(日)	第4回料理教室	ラ・セーヌ洋菓子店	【講師】ラ・セーヌ洋菓子店 虎津 禎一 氏
H23 年 2 月 4 日(金)	第5回料理教室	周世ふれあい市場	【講師】周世ふれあい市場企業組合
10 月 24 日(日)	大石りくまつりに出展	豊岡市内	
11 月 13 日(土) ～14 日(日)	きらまつりに出展	吉良町内	
H23 年 2 月 6 日(日)	赤穂かきまつりに出展	赤穂市内	3市町の既存商品・新商品の販売
2 月 15 日(火)	アグリフード EXPO2010 先進事例(広域的販路拡大)視察研修	大阪 ATC	「農と食をつなぐ」をテーマとした国産物の 展示商談会
事業費		983,964 円	

鳥獣害防止総合対策

○取組の内容

圏域内の農業被害の軽減及び山村の機能を保全するため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成１９年法律第１３４号）に基づき、各市町が策定した被害防止計画に定めた鳥獣被害防止対策を総合的に進める。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、赤穂市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 赤穂市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して鳥獣被害防止計画を策定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、上郡町と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 上郡町と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。

事業名	有害鳥獣対策事業					関係市町	
						赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	関係市町で鳥獣被害防止計画のすり合わせを行うとともに、ヌートリア用捕獲檻を一括購入したり、狩猟期間以外において市町界、県境での有害鳥獣の共同捕獲活動を実験的に行う。						
効果	圏域の関係団体が一体となった取組みを進めることにより、農作物等への被害を抑制し、イノシシやシカなどの生息状況や生息環境の情報を共有しながら効果的な対策を講じることができる。特に、関係市町の境界付近においては有効である。						
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	642	700	700	700	700	3,442	
平成22年度事業の内容							
1. ヌートリア捕獲用檻を各市町10基、計30基を購入。							
2. 各市町の鳥獣被害防止計画に共通項目を示すためのすり合わせ作業を実施。							
3. 10月を強化月間として市町界、県境での有害鳥獣の共同捕獲活動を実施。							
実施日 平成22年10月1日（金）～31日（日）							
捕獲実績（頭）							
鹿 猪 計							
赤穂市 10 10 20							
備前市 20 12 32							
上郡町 23 5 28							
合計 53 27 80							
事業費 572,465 円							

企業誘致の推進

○取組の内容

圏域経済の活性化を図るため、連携して企業誘致に必要な情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。	大阪市等の主要な都市部における企業誘致説明会の開催等により、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。	企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。

事業名	企業誘致促進事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	大阪など都市部で開催される大規模な企業誘致説明会や展示会等に、関係市町が合同で出展、参加し、情報発信を行うなど企業誘致促進のための事業を行う。					
効果	住民の雇用機会の拡大及び産業振興の促進を図ることにより、圏域経済の活性化と定住人口の確保を図り、圏域全体の活性化を推進する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,961	2,000	2,000	2,000	2,000	9,961
平成22年度事業の内容						
1. 平成22年9月9日（木）～10日（金）「国際フロンティア産業メッセ2010」に出展し、工場用地に関するアンケートや工業用地・観光パンフレット等の配布を行い、PRを実施。 ①出席者 3市町担当者 ②会場 神戸国際展示場1号館 ③来場者数 18,406人（2日間合計） ④アンケート回答者 264人						
						
2. 平成22年10月6日（水）～8日（金）「関西機械要素技術展」に出展し、工場用地に関するアンケートや工業用地・観光パンフレット等の配布を行い、PRを実施。 ①出席者 3市町担当者 ②会場 インテックス大阪3号館 ③来場者数 31,498人（3日間合計） ④アンケート回答者 787人						
						
事業費	2,119,360円					

観光振興の推進

○取組の内容

観光振興による地域産業の活性化を図るため、地域の観光資源の発掘やその魅力を活かした観光ルートの設定、旅行代理店等へのPR及びガイドブックの作成を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 赤穂市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 忠臣蔵、塩等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 旅行代理店等と連携、調整を図り、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 上郡町と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 上郡町と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 古代山陽道や赤松氏等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 備前市及び赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	単独の市町では設定できない魅力的な観光ルートを、関係市町が連携して設定し、広域的な観光ガイドブックを作成する。さらに、観光キャンペーン等での情報発信や誘客活動を共同で行う。 なお、事業の実施にあたっては、外部アドバイザーの招へい等を行い、事業の円滑な推進を図る。					
効果	知名度の高い観光資源を有効に組み合わせて活用するとともに、海、山、川など豊かな自然環境や景観を活かした新たな観光資源の開発の検討も行い、圏域全体での観光振興の推進を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	8,207	7,300	800	800	800	17,907
平成22年度事業の内容						
1 GAP調査の実施（平成22年7月8日（木）～9日（金））						
（1）対象者						
・20歳以上の男女						
・インターネットリサーチ「マクロミル」のモニター会員 1,030名						
（2）居住地区						
・岡山県 206名 ・兵庫県 206名 ・京都府 206名						
・大阪府 206名 ・広島県 206名						
（3）調査項目						
・Q1～Q10までの10項目						
・イメージ比較、訪問経験、期待と満足度、認知と関心、食に関する新メニュー案について、食に関する提供の仕方について						

- 2 旅づくり塾による観光振興推進策の検討（ワークショップの開催外）
- 3 新ご当地グルメお披露目会を開催
日 時 平成23年1月28日（金）
場 所 赤穂パークホテル
（1）出席者 3市町の市長、副市長、議長、副議長、3市町担当者、観光協会・商工会、
提供店舗担当者、旅づくり塾WS参加者、マスコミ関係者
（2）実施内容 ①新ご当地グルメ「塩モロどん」「いとこぜんざい」の紹介・試食
②のぼりの公開・配布
- 4 平成23年2月1日（火）発売の「関西、中国・四国じゃらん 3月号」に「新ご当地グルメ誕生！」として記事風広告4ページを掲載。
また、2月1日から、圏域内14店舗で「塩モロどん」「いとこぜんざい」を販売開始。
- 5 平成23年2月6日（日）開催の「赤穂かきまつり」において、「塩モロどん」と「いとこぜんざい」の一般向けお披露目販売を実施。



塩もろどん



いとこぜんざい

事業費 4,275,001 円

結びつきやネットワークの強化

【ア. 地域公共交通】

地域公共交通ネットワークの構築

○取組の内容

圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について継続的に調査、検証するとともに、バス路線の充実・構築及びＪＲ山陽本線、赤穂線の利便性向上に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 赤穂市と協力、連携して両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 圏域内住民の移動手段を確保するため、両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 上郡町と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 備前市及び赤穂市と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	圏域内において関係市町間を結ぶ公共交通ネットワークを構築するため、圏域運行バスの導入に向けて、住民ニーズ、バスの利用実態及び費用対効果等を分析・調査する。					
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,000	43,000	10,000	10,000	10,000	74,000
平成22年度事業の内容						
【関係機関協議】 ○ウエスト神姫 ○日生運輸 ○中国運輸局岡山運輸局 ○岡山県県民交通対策課 ○兵庫県交通政策課 テスト運行素案の作成及び本格運行に向けた関係機関との協議を実施。						
事業費	24,200 円					

事業名	J R利便性向上事業				関係市町	
					備前市・赤穂市・上郡町	
事業内容	J R山陽本線、赤穂線を利用する住民や圏域を訪れる人たちの移動手段と利便性の向上を図るため、関係市町によりJ R西日本等関係機関への働きかけを行う。					
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	150	150	150	150	150	750
平成22年度事業の内容						
【県要望会】 22.11.8 岡山県要望会（岡山会場） 22.11.11 兵庫県要望会（兵庫会場） 兵庫・岡山両県境隣接市町村協議会の県に対するJR関係要望の中に、東備西播定住自立圏の文言を入れPRを図る。 【JR要望会】 23.2.2 JR西日本岡山支社にて要望会の実施 23.2.9 JR西日本神戸支社にて要望会の実施 3市町合同で各支社を訪問し、直接要望活動や意見交換を行う。						
事業費	57,240 円					

【イ. ICTインフラ整備】

地域情報ネットワークシステムの構築

○取組の内容

圏域内の地域情報を、行政、各種団体、個人が、インターネットを介し、容易に発信や入手できる地域コミュニティサイトの構築に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に赤穂市と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトを検討する会議を主催し、地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に上郡町と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に備前市及び赤穂市と協力して取り組む。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	圏域内の地域情報の交流と活性化を図り、魅力ある圏域を形成するため、ICT技術を活用した地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を構築し、運営する。					
効果	公式ホームページによる行政情報は行政からの一方通行であるが、地域SNSは、行政と住民、住民と住民など、双方向から発信することができるため、関係市町間及び行政と住民間の情報共有並びに地域社会及び地方行政への住民参画を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	2,100	2,100	2,100	2,100	8,400
平成22年度事業の内容						
1. 総務省委託事業「地域ICT利活用広域連携事業」に、「地域防災」と「圏域SNS」の構築を事業内容として応募 ⇒ 結果「不採択」 2. ASP(民間のサービスを利用する)方式によるSNS事業へ実施方法を変更して行う。						
事業費	— 円					

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	圏域情報を住民に広く周知するため、関係市町公式ホームページとは別に関係市町で組織する東備西播定住自立圏形成推進協議会のホームページを作成し、情報を発信する。					
効果	圏域のイベント情報や東備西播定住自立圏形成推進協議会の状況等定住自立圏形成に必要な情報を発信し、情報の共有化を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—

平成22年度事業の内容

【進捗状況】

- 5月7日 「東備西播定住自立圏形成推進協議会」のホームページを開設
(赤穂市のWebサーバ内)
- 各市町からの情報を適宜追加登録し、運用を図る
- ホームページにアクセスカウンターを設置

	22.08.13	備前市	ひなせみなとまつり花火大会が開催されます 8/13(金)
	22.09.01～	協議会	埋蔵文化財巡回展「新発見考古速報展」を開催します 9/1(水)～
	22.09.11	協議会	「赤穂市・備前市・上郡町 指定文化財・文化施設等巡りツアー」を実施します (各市町で参加者を募集しています)
	22.09.11	協議会	第7回 三石灯りの街を開催します 9/11(土)
	22.09.09～10	協議会	企業誘致展示会に出展します! 9/9(木)～10(金)
	22.10.06～08	協議会	企業誘致展示会に出展します! 10/6(水)～8(金)
	22.10.16～17	備前市	備前焼まつりが開催されます 10/16(土)～17(日)
	22.10.24	協議会	郷土・伝統芸能まつり - 響きあう、海と里 - を開催します 10/24(日)
	22.10.30	協議会	上郡・赤穂・備前総マップ交流発表会2010を開催します 10/30(土)
	22.11.03	備前市	片鉄ロマン街道ウォークが開催されます 11/3(水)
	22.11.03～21	赤穂市	まるごと赤穂大博覧会が開催されます 11/3(水)～21(日)
	22.11.06	赤穂市	赤穂とれたて朝市(秋編)が開催されます 11/6(土)
	22.10.30～11.07	備前市	旧関谷学校のライトアップが始まりました 10/30(土)～11/7(日)
	22.12.11～12	協議会	忠臣蔵交流楽書を開催します 12/11(土)～12(日)
	22.12.14	赤穂市	赤穂義士祭が開催されます 12/14(日)
	23.01.30	赤穂市	赤穂シティマラソンが開催されます 1/30(日)
	22.11.23～23.3.13	協議会	「まちぶら東備・西播」 参加者募集中 パンフレット表裏・パンフレット中面
	23.2.6	備前市	源平放水合戦が行われます 2/6(日)
	23.2.6	赤穂市	赤穂かきまつりが開催されます 2/6(日)
	23.2.11	備前市	備前市えびす駅伝競走大会が開催されます 2/11(金)
	23.2.13 23.2.20	備前市	真魚市かき祭が開催されます 2/13(日)・2/20(日)
	23.2.20	赤穂市	大島圭介ゆかりの地探訪ウォーキングが開催されます [案内チラシ]
	23.2.27	備前市	ひなせ かき祭が開催されます 2/27(日)
	23.2.27	備前市	ひぜんクラシックコンサートが開催されます 2/27(日)

事業費 — 円

【ウ. 地域内外の住民との交流・移住促進】

住民交流

○取組の内容

圏域内の住民交流を活性化させるため、赤穂国際音楽祭等住民交流に資するイベント等を実施又は支援し、にぎわいの創出、相互の理解を深める。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	赤穂国際音楽祭等の開催に向けて必要な調整を行うとともに、備前市と連携して住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	備前市及び赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	定住自立圏の制度や取組み内容について、住民の方々に幅広く周知するとともに、圏域外へも情報発信するため、フォーラムを開催する。					
効果	定住自立圏構想について住民の理解を深めるとともに、住民相互の交流と魅力ある圏域づくりのための住民参画を進め、圏域住民と行政の協働によるまちづくりを推進する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	3,200	—	—	—	—	3,200

平成22年度事業の内容

【実施内容】

日時 7月3日(土) 13時30分～16時
 場所 赤穂市文化会館 小ホール
 内容 ・基調講演：「定住自立圏構想が描く未来」元総務大臣 増田寛也氏
 ・パネルディスカッション：3市町首長、増田氏
 (コーディネーター 山崎神戸新聞姫路支社長)
 来場者 約380人



事業費 3,199,128 円

事業名	民間イベント等助成事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	民間事業者等が行うイベントで、圏域内の複数の市町において実施するとともに、圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるために実施するものに対し、助成を行う。					
効果	住民の交流を促進するとともに、住民自身の直接参画によるイベント等の開催を支援することにより、住民と行政の協働による圏域づくりを目指した取り組みを進める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,114	1,100	1,100	1,100	1,100	5,514
平成22年度事業の内容						
H22.6.29 幹事会公開審査会（赤穂市役所）で次の9団体を支援決定（申請10団体）						
忠臣蔵交流囲碁大会 (忠臣蔵交流楽基会)		3市町囲碁クラブを中心とした囲碁大会を、赤穂市花岳寺本堂等で開催した。				
テニス大会 (赤穂市テニス協会)		テニスによる3市町のスポーツ振興と交流を図ることを目的に「東備西播テニス選手権大会」を備前テニスセンターで開催した。				
定住自立圏推進交流中学軟式野球大会 (赤穂軟式野球協会)		赤穂市5中学校、備前市5中学校、上郡町1中学校の11チームにより、第1回定住自立圏推進交流中学校軟式野球大会を開催した。				
東備西播定住自立圏城市町 親善ゲートボール大会 (赤穂市ゲートボール協会)		3市町住民によるゲートボール大会を赤穂市城南緑地陸上競技場で開催した。				
安室ダムまつり (安室ダムまつり実行委員会)		「第18回安室ダムまつり」で、圏域交流を推進するための「交流ステージ」を設け、文化交流を図った。				
赤穂・上郡・備前絵マップ交流2010 (あこう絵マップコンクール実行委員会)		3市町の子どもたちが絵マップを通じた交流を行い、互いの地域に関心を持つための発表会及び作品展を開催した。				
幼児から高齢者までサッカーを通じた健康づくり、仲間づくり及び地域づくりの推進 (エンジョイサッカー実行委員会)		3市町の小学生や高校生、社会人によるサッカー交流イベント及び地域交流サッカー大会を開催した。				
三石灯りの街・三石写真美術館 (Mプロジェクト協議会)		「三石灯りの街」「三石写真美術館」事業を拡大し、3市町による住民交流と賑わいの創出、相互理解を深めるライトアップ事業を開催した。				
まちぶら東備西播 (まちの達人おすすめのまちあるきコース) (日生町観光協会)		この圏域の魅力の再発見と、各市町のまち歩きコースを設定したまちぶらを実施した。				
○各事業PR等の支援						
・各事業PR等の支援、事業報告、報告公開（事業が終了し、報告書が提出されたものから協議会ホームページで公開）						
事業費		1,034,415 円				

事業名	赤穂国際音楽祭開催助成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内外の住民交流を促進し、住民の賑わいを創出するために行う赤穂国際音楽祭の開催に対して助成を行う。					
効果	圏域の魅力を赤穂国際音楽祭を通して日本全国、世界に発信するとともに、住民参加により地域に根ざしたイベントとして充実・発展させる。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	5,000	—	5,000	—	10,000
平成22年度事業の内容						
<赤穂国際音楽祭～LePont2011～> 開催日：平成23年7月2日（土）～4日（月） 開催場所：赤穂市文化会館 ・7月4日（月）、定住自立圏枠（備前市、上郡町）200席の確保及び送迎バスの運行						
事業費	— 円					

移住の促進

○取組の内容

圏域外からの人の流れを創出し魅力ある圏域を作るため、連携して移住情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	神戸市等の主要な都市部における定住相談会の開催等により、圏域の移住情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町合同による定住相談会を神戸市等の主要な都市部で開催し、各市町で実施している定住支援策等の情報を発信し、移住希望者の定住先として本圏域を選択してもらえるよう定住促進事業を実施する。					
効果	住んでみたいと感じてもらえる魅力のある圏域づくりに努め、その情報を圏域外へ発信するとともに、圏域の存在をアピールして、圏域外からの移住及び交流人口の増加を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	900	900	900	900	900	4,500
平成22年度事業の内容						
【実施の状況】 ◆関東会場 H22.9.23 「ふるさと回帰フェア 2010」(早稲田大学) 自治体相談コーナー 10時～17時 北海道から鹿児島県まで、全国から 178団体が112のブースで相談実施 定住説明、資料配布対応 (来場者総数 17,015人) ◆関西会場 H23.3.19 「定住相談会」の開催 場所 神戸国際会館(三宮駅前) 時間 10時30分～16時 内容 3市町職員による定住相談会 (来場者 11組16人)						
						
事業費	858,680 円					

圏域マネジメント能力の強化

【ア. 圏域内の職員等の交流】

圏域内の職員等の交流

○取組の内容

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力の強化を図るため、圏域外の専門家の招聘や、合同研修、職員交流を実施する。

備前市の役割	赤穂市の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 赤穂市と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 赤穂市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。
備前市の役割	上郡町の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 上郡町と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 上郡町が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	職員の能力向上を図るため、圏域内の共通の課題をテーマに各市町職員を対象とした集合研修を実施する。					
効果	職員の能力及び資質の向上を図るとともに、圏域全体にわたる事業運営の円滑化と職員間の一体感を醸成させる。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	130	130	130	130	130	650
平成22年度事業の内容						
7月29日（木）午後2時から、赤穂市において2市1町の職員による集合研修を実施 ① 開催場所 赤穂市文化会館（ハーモニーホール）2階学習室 ② 研修内容（講義形式） 定住自立圏構想について（総務省地域力創造グループ地域自立応援課主幹 北村崇史氏） 東備西播定住自立圏形成推進のために（赤穂市企画振興部長 橘 直良氏） ③ 参加人員 管理監督職員 73名（赤穂市39名、備前市22名、上郡町12名）						
事業費	44,392 円					

事業名	関係市町					
事業内容	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	各市町において実施している職員研修に、他の関係市町の職員を受け入れる。					
効果	参加可能な研修メニューの幅が広がるとともに、職員間の交流を深める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成22年度事業の内容						
職員研修参加交流の実施 備前市 ◇8月25日(水)、26日(木) 備前市市民センターにおいて人権研修を開催 参加人数：赤穂市 7名、上郡町 2名 赤穂市 ◇10月18日(月)、19日(火) 赤穂市役所において接遇研修を開催 参加人数：備前市 9名、上郡町 9名 ◇12月21日(火) 赤穂市役所において公務員倫理研修を開催 参加人数：備前市 14名、上郡町 4名 上郡町 ◇メンタルヘルス研修の日程が7月の集合研修の開催と重なったため、他市からは不参加						
事業費	— 円					

事業名	関係市町					
事業内容	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の人事担当部署が人事労務にかかる情報交換を図る研修・交流会を持ち回りで開催する。					
効果	人事労務に係る情報交換を行うことにより、関係市町の課題に的確・迅速に対応する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成22年度事業の内容						
1. 7月14日、赤穂市役所において各市町の担当職員による研究会を開催 各市町の課題となっている事項等について情報交換を行い、集合研修の開催、職員研修参加交流事業について協議 (協議事項) 昇任試験制度、採用試験(中途採用を含む)、職員の再任用、障害者雇用等について						
事業費	— 円					

事業名	関係市町					
事業内容	高度で専門的な知識・技術等を有し、広域的な行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導・助言できる専門家を招へいする。					
効果	魅力ある圏域づくりに向け、多様化する住民ニーズを的確に捉え、政策立案ができる職員等を育成する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成22年度事業の内容						
7月29日に開催した2市1町の職員研修会において、総務省地域力創造グループ地域自立応援課の北村崇史主幹を講師として招へいし、定住自立圏構想に加え、国における新たな成長戦略ビジョン、地域づくりに対する国からの助言、支援等についての講義を実施						
事業費	— 円					

事業名	関係市町					
事業内容	関係市町において協議のうえ、必要に応じ職員の派遣交流を行う。					
効果	圏域全般における職員の相互理解と、職員としての資質・能力の向上を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成22年度事業の内容						
研修等による職員間の交流を進めるとともに、職員の相互派遣交流についても今後継続して検討を行う。						
事業費	— 円					